

広報

Reuse Reduce Recycle

にしはりま

VOL. 9

2009年3月25日発行

環境事務組合

循環型社会拠点施設整備事業

土地造成・進入道路工事の状況

..... 2ページ

にしはりま環境事務組合議会

..... 3ページ



一人ひとりができることから始めよう
まずは意識(3Rの実践)をすることから
循環型社会をめざしましょう

発注の経緯報告...4

～熱回収施設・リサイクル施設建設工事の入札経緯～
～熱回収施設・リサイクル施設建設工事の再入札に向けての検討経緯～

ごみの処理方式を見直しました...5
環境保全委員会

契約業務のお知らせ...6
平成21年度工事発注予定のお知らせ

にしはりま環境事務組合の主要経過...7

～一人ひとりができること～ 3Rの実践...8

www.nishiharima-kankyo.or.jp

循環型社会拠点施設整備事業

—— 土地造成・進入道路工事の状況 —— (平成21年3月現在)

平成20年度より、本格的に土地造成及び進入道路工事が始まり、伐採、防災工、進入道路の盛土補強土壁工、排水工及び調整池の堤体工等が計画どおり進んでいます。

平成20年度末の進捗率は約40%で、平成21年度末には工事が完了する予定です。

今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

■工事箇所図



土地造成工事

進入道路工事



調整池工事



にしはりま環境事務組合議会

第12回 定例会

■月日 平成20年8月22日(金)
 ■場所 県立先端科学技術支援センター
 ■本議会では、平成19年度予算の繰越報告をはじめ、公平委員の選任同意、平成19年度歳入歳出決算の認定が行われました。

報告

1件の報告が行われました。
 ①平成19年度繰越明許費繰越計算書の報告について

人事

公平委員の選任について
 【同意】
 清水 康廣氏(穴栗市)
 北川 芳秋氏(上郡町)
 内山 宗一氏(佐用町)

認定

①平成19年度一般会計歳入歳出決算の認定
 【認定】
 (歳入総額) 2億6,563万5500円
 (歳出総額) 1億9,117万5,9900円



●組合議員建設地視察

第12回定例会終了後、循環型社会拠点施設建設地の土地造成及び進入道路工事の現地視察を行いました。

第13回 定例会

■月日 平成21年2月23日(月)
 ■場所 県立先端科学技術支援センター
 ■本議会では、議長選挙をはじめ、工事請負契約の変更、平成20年度補正予算及び平成21年度当初予算の審議が行われました。

議長の選挙

選挙の結果、議長に田淵重幸氏(上郡町)が就任されました。

議案

①工事請負契約の変更について
 【可決】

- ・工事名 土地造成及び進入路工事
- ・契約金額 995,400,000円
- ・変更後の契約金額 1,093,438,500円
- ・請負業者 宮本・山陽・福原特定建設工事共同企業体

②平成20年度一般会計歳入歳出補正予算
 【可決】

- ・(歳入歳出予算補正額) 2億42万円を減額
- ・(歳入歳出総額) 1億4,545万7千円

③平成21年度一般会計歳入歳出予算
 【可決】

- ・(歳入歳出総額) 7億6,642万6千円

●組合議員名簿(議席順)

(敬称略)
 平成21年2月23日現在

氏名	選出市町
西本 眞造	姫路市
山下 昌司	姫路市
小寺 昭男	たつの市
栗本 一水	たつの市
田淵 基次	穴栗市
田中 鶴雄	穴栗市
東 豊俊	穴栗市
船曳 順市	穴栗市
村上 昇	上郡町
田淵 重幸(議長)	上郡町
新田 俊一	佐用町
松尾 文雄	佐用町
金谷 英志	佐用町
西岡 正(副議長)	佐用町

平成21年度の主な事業計画

- ①建設地周辺地域住民の理解と協力の確保
- ②広い住民の理解と協力の確保
(旧三日月町域・光都・鞍居地区等)
- ③専門的見地からの指導助言の確保
- ④圏域住民の参画と協働、透明性の確保
・環境保全委員会(継続)
- ⑤循環型社会拠点施設整備
・土地造成及び進入道路工事(継続)
・施設の発注業務(継続)
・監視調査業務(継続)
・施工監理業務(継続)
- ⑥事務組合の適かつ民主的・効率的運営

発注の経緯報告



循環型社会拠点施設

～熱回収施設・リサイクル施設建設工事の入札経緯～

このたび平成21年2月23日に組合議会全員協議会で、循環型社会拠点施設「熱回収施設・リサイクル施設建設工事」の入札経緯について報告しました。

①入札公告（平成20年7月1日）

処理方式を、「流動床ガス化溶融炉方式」と「ストーカ+灰溶融炉方式」の2方式で入札公告を行いました。

②応募業者の受付（平成20年7月28日～9月30日）

当初4社の応募があり、一次審査要件を満たしていましたが、二次審査の図書の受付期間中に、1社の入札参加要件が欠格となり、2社が入札を辞退しました。このため、残る1社のみ図書の提出がありました。

③入札取消し公告（平成20年10月23日）

正副管理者会議において、1社しか見積図書の提出がなかったため、今回の入札については、「競争の実益がない」と判断し、入札の取消しを行いました。



～熱回収施設・リサイクル施設建設工事の再入札に向けての検討経緯～

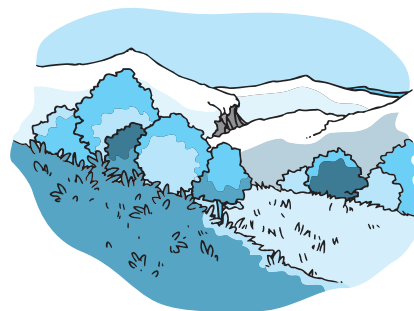
施設建設工事の発注を中断したため、再度入札公告に向け、発注仕様書の内容等の見直し作業を進める中、※(財)兵庫県環境クリエイトセンターより、灰の外部処理による資源化について、新たな事業化の報告がありました。

①正副管理者会議で協議（平成20年11月18日）

正副管理者会議にて、(財)兵庫県環境クリエイトセンターより灰の外部処理事業の提示があったため、熱回収施設・リサイクル施設の再度発注に当っては、次の点について検討することになりました。

○検討内容

- ① 再度発注に向けての仕様書の見直し
- ② 灰溶融処理と灰の外部処理との比較検討
- ③ 処理方式の再検討



②技術審査小委員会による処理方式の再審議（平成21年2月2日）

組合の検討結果を踏まえ、学識者で構成される技術審査小委員会で、専門的な見地から検討・協議が行われ、灰処理については別途外部処理により資源化を図ることが可能となったことで、灰の溶融は行わず、焼却のみを行う施設とすることとし、ストーカ炉方式に変更することについて了承されました。

③正副管理者会議で処理方式を決定（平成21年2月18日）

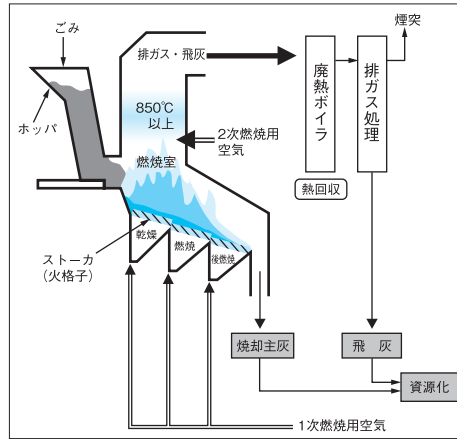
技術審査小委員会による審議結果を踏まえ、稼働実績、安全性・安定性、事業費の検討とあわせて、処理方式について正副管理者会議で協議が行われ、焼却のみの方式として、ストーカ炉方式に変更することに決定しました。

※(財)兵庫県環境クリエイトセンター：平成7年8月、兵庫県及び県下全 市町の出捐により発足。
平成7年11月、旧厚生省より「廃棄物処理センター」の指定。

ごみの処理方式を見直しました

ストーカ炉方式

このたび組合で見直した、ストーカ炉方式の概要や施設の特徴を紹介いたします。



【概要】

ストーカ炉方式の施設では、ごみはクレーンで供給ホッパに投入され、ストーカ（火格子）上でゆっくり移動しながら、ストローカ下部から吹き込まれる燃焼用空気により、乾燥・燃焼・後燃焼の3段階を経て焼却が行われます。灰分の大部分はストーカ終端から排出され、燃焼ガスは廃熱ボイラー等で温度を調整したあと、排ガス処理施設（バグフィルター）内で無害化し煙突から放出されます。

【特徴】

ごみ焼却技術としては、長期間にわたる多くの稼働実績があり安定しています。

供用開始スケジュールの見直し

平成24年当初の供用開始をめざして事業を進めることとし、土地造成及び進入道路工事等については順調に事業を進めています。このたびの循環型社会拠点施設整備事業熱回収施設・リサイクル施設建設工事入札取消しに伴い再度入札を行うこととなり、施設供用開始時期を、平成24年10月に変更せざるを得なくなりました。ごみ処理施設は、住民生活に密着した施設であり、1日も早い完成をめざして鋭意取り組んでまいりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
土地造成工事 進入道路工事	[Progress bar]			[Progress bar]	
熱回収施設 リサイクルセンター		[Progress bar]			
試運転					[Progress bar]
施設の稼働					[Progress bar]



報告・協議

- ① 環境保全委員会設置要綱について
- ② 委員長・副委員長の選任について
(委員長) 野邑 奉弘氏
(副委員長) 山村 充氏
- ③ にはりま環境事務組合の事業概要について
- ④ 土地造成及び進入道路工事の概要及び
工事中の監視調査等について

第1回

■月日 平成20年4月23日(月)
 ■場所 県立先端科学技術支援センター
 ■委員会 は、にはりま循環型社会拠点施設建設の稼働に伴う周辺環境の保全を図ることを目的に設置されたものです。
 委員会での、主な報告・協議内容は次のとおりです。

にはりま循環型社会拠点施設 環境保全委員会



●環境保全委員名簿 (敬称略)

平成20年4月現在

区分	氏名	市町等
学識経験者	野邑 奉弘	大阪市立大 名誉教授
	山村 充	兵庫県立大 准教授
周辺地域 住民代表	花井 一義	佐用町
	藤東 義澄	佐用町
	長峰 昭藏	佐用町
	宇多 建	佐用町
	土井 準	佐用町
	森本 忠正	佐用町
組合圏域 住民代表	塚本 敦	姫路市
	井柳喜美子	たつの市
	中住 善信	宍粟市
	村上 昇	上郡町
	坂口 榮	佐用町
関係行政 職員等	矢内健太郎	西播磨県民局
	森田 伸二	兵庫県企業庁

契約業務のお知らせ

○生活環境影響調査事後監視調査業務

- 業務内容** : 生活環境影響調査事後監視調査業務
大気汚染調査、水質汚濁調査、騒音・振動調査、土壌汚染調査、
植物・動物移植調査業務
- 契約相手** : (株)日建技術コンサルタント神戸事務所
- 契約期間** : 平成20年5月9日～平成24年9月30日
- 委託料** : 15,685,950円(税込み)
- 入札方法** : 制限付一般競争入札

○熱回収施設、リサイクル施設及び土地造成、進入道路建設に係る設計・施工監理業務

- 業務内容** : 熱回収施設及びリサイクル施設の設計・施工監理業務
土地造成及び進入道路の設計・施工監理業務
- 契約相手** : (株)日建技術コンサルタント神戸事務所
- 契約期間** : 平成20年8月1日～平成24年9月30日
- 委託料** : 54,810,000円(税込み)
- 入札方法** : 制限付一般競争入札

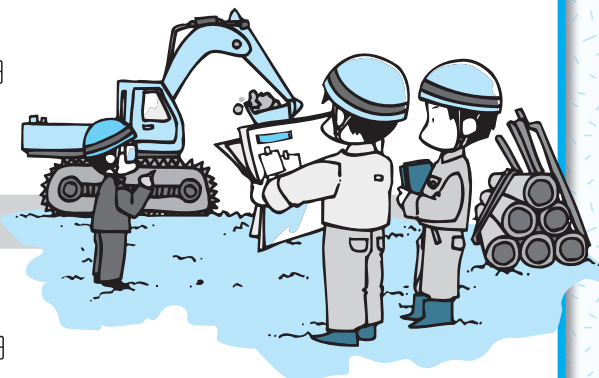


○排水路改修工事(A流域)

- 工事内容** : 排水路改修工事
- 契約相手** : (株)西原土木
- 契約期間** : 平成20年8月1日～平成20年12月25日
- 請負額** : 9,494,100円(税込み)
- 入札方法** : 制限付一般競争入札

○排水路改修工事(B流域)

- 工事内容** : 排水路改修工事
- 契約相手** : (株)新光建設
- 契約期間** : 平成20年8月1日～平成20年12月25日
- 請負額** : 8,453,550円(税込み)
- 入札方法** : 制限付一般競争入札



○排水路改修工事(C流域)

- 工事内容** : 排水路改修工事
- 契約相手** : (有)加藤組
- 契約期間** : 平成20年8月1日～平成20年12月25日
- 請負額** : 7,350,000円(税込み)
- 入札方法** : 制限付一般競争入札

平成21年度工事発注予定のお知らせ

- 工事名** : 施設建設工事(仮称) **種別** : 清掃施設工事
- 入札公告予定** : 平成21年4月～5月 **入札方法** : 一般競争入札

※詳しくは、随時ホームページ等に掲載します。

にしはりま環境事務組合の主要経過

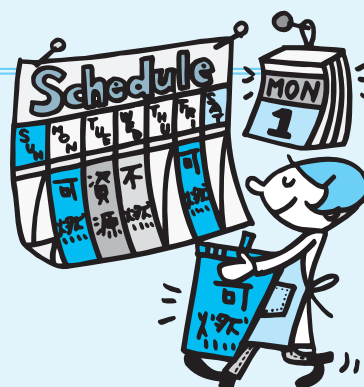
(平成20年3月～平成21年2月)

〔平成20年〕

- 3月31日 広報「にしはりま環境事務組合」第8号発行
- 4月 8日 三原集落、三ツ尾集落土地造成及び進入道路工事説明会
- 4月10日 「生活環境影響調査事後監視調査業務」入札公告
- 4月17日 久保集落土地造成及び進入道路工事説明会
- 4月19日 東大畑及び西大畑集落土地造成及び進入道路工事説明会
- 4月23日 第1回環境保全委員会
- 4月27日 弦谷集落土地造成及び進入道路工事説明会
- 4月28日 第8回技術審査小委員会
- 5月 2日 「生活環境影響調査事後監視調査業務」入札執行
- 5月13日 第24回建設地周辺地域連絡協議会
- 5月25日 光都21自治会土地造成及び進入道路工事説明会
- 5月30日 金出地地区土地造成及び進入道路工事説明会
- 6月10日 正副管理者会議
- 6月25日 第25回建設地周辺地域連絡協議会
- 7月 1日 「熱回収施設・リサイクル施設建設工事」入札公告
「熱回収施設・リサイクル施設及び土地造成、進入道路建設にかかる
設計施工監理業務」入札公告
「排水路改修工事(A・B・C流域)」入札公告
- 7月24日 組合決算監査
- 7月28日 「熱回収施設・リサイクル施設及び土地造成・進入道路建設にかかる設計施工
監理業務」入札執行
「排水路改修工事(A・B・C流域)」入札執行
- 8月 7日 正副管理者会議
- 8月11日 組合議会運営協議会
- 8月22日 組合議会全員協議会
第12回にしはりま環境事務組合議会
組合議員土地造成及び進入道路工事現地視察
- 9月 5日 組合公平委員会
- 10月 9日 正副管理者会議
- 10月23日 「熱回収施設・リサイクル施設建設工事」入札取消し公告
- 11月18日 正副管理者会議

〔平成21年〕

- 1月19日 組合議会運営協議会
- 2月 2日 第9回技術審査小委員会
- 2月18日 正副管理者会議
- 2月20日 組合議会運営協議会
- 2月23日 組合議会全員協議会
第13回にしはりま環境事務組合議会
- 2月25日 第26回建設地周辺地域連絡協議会



～一人ひとりができること～ 3Rの実践

3Rはごみを減らし、資源を大切に使う暮らし方のキーワードです。



第1の Reduce

(リデュース)

ごみになる
ものを減らす

生活の中でごみをつくらない工夫をすることが一番大切です。ごみは資源となりますが、それだけでは循環型社会は成り立ちません。

- ごみになりやすいものは買わないようにしましょう。
- 余分な包装はことわりましょう。
- ものを大切に、できるだけ長く使しましょう。
- 食べ物は残さないようにしましょう。



たとえば暮らしの中でこんなふうに行うことができます！

商品を選ぶときにまずチェック



- ・これを長く使えるかな
- ・詰め替えができるかな
- ・再生品も検討してみよう
- ・多く買いすぎているかな

マイバッグでお買い物



「レジ袋はいりません」

ちょっと待って！捨てる前に…



- ・何か違うことに使えないかな
- ・誰かに使ってもらえるかも…
- ・工夫すればまだ使えるかも！

ルールを守って回収へ



これが3つのステップです。でも… すべてのものがリサイクルできるわけではありません。**最初の一步「Reduce (リデュース)」が一番重要なのです！**



第2の Reuse

(リユース)

捨てずにまた使う

使い終わっても捨てないで！工夫や手間で繰り返し使えるものはたくさんあります。新しいものをつくるよりも資源やエネルギーを使いません。

- リターナブルびんを選んで買しましょう。
- 詰め替えのできる商品を選びましょう。
- フリーマーケットやリサイクルショップを上手に使しましょう。
- 工夫して新しい使い道を考えましょう。

それでも出てしまったごみは…



第3の Recycle

(リサイクル)

もう一度資源
として生かす

正しく分別すれば資源になるものでも、ただ捨てるだけでは「ごみ」になってしまいます。何が資源になるかを知っていますか？

- 資源は分別して回収に出しましょう。
- 再生品を進んで選びましょう。

